

## JA 三次管内で白ねぎの作期拡大に取り組む

【平成 29 年 3 月 13 日掲載】

JA 三次管内では平成 27 年から白ねぎ栽培に取り組んでおり、平成 28 年には 14 経営体、約 2 ha で、秋から冬に収穫する作型で栽培しました。集落法人や認定農業者、新規就農者などから水稲やアスパラガスの農閑期の作物として評価されています。

平成 29 年からは新たな取組として、夏（7～9 月）に収穫する作型や、春（3～4 月）に収穫する作型の試験栽培を実施します。作期の拡大で水稲が中心の生産者や野菜専作の生産者が労力に余裕のある時期を選択し、栽培することで、生産者の収入アップや白ねぎ専用機械の周年利用が狙えます。

夏収穫は、三次市三和町の國岡真一（くにおかしんいち）さん（35 才）他 5 生産者が計 20a で試験栽培を行うため、昨年末から 4 月に向けて、順次、育苗や定植を行っています。春収穫は 2 生産者が計 5a で試験栽培を行うため、5～6 月の定植予定です。

平成 29 年は新たな作型の試験も含めて 20 経営体で約 3.8ha の栽培を予定しています。秋冬の白ねぎの収量確保・規模拡大と平行して、作期拡大に取り組む、より多くの生産者の経営に貢献できるよう支援していきます。



【夏収穫を狙う白ねぎ圃場】



【播種作業風景】

情報提供元

北部農業技術指導所